



## 行事の特徴

団子をまく行事は、主に北陸地方の寺の初午や花祭の行事として、数例報告されていますが、「餅まき」に比べても行事自体が大変珍しいばかりでなく、本行事は、薬師の祭祀の一環として行われていることに大きな特徴があります。

しかも戦時中の食糧難の際にも中断することなく、毎年継続して行われてきたと伝承されていることから、野崎の人々の強い信仰心を見ることができます。

団子まきは、かつて畑作農村であり、かつ近世の新田村落として成立した野崎の開発、および神社祭祀、水利などのその後の村落の展開に深くかかわっており、団子まきの背景や歴史によって野崎の歴史を明らかにすることができます。とても珍しい行事です。

「野崎八幡薬師殿団子まき」報告書を一部引用加筆

了後の境内には

団子が一粒も落ちていない